

だから私は、仁愛大学の コミュニケーション学科で 学んでいます。

COM

自国の文化を伝える近道は、
海外との違いを知ること。

コミュニケーション学科4年

金森 日和

| 仁愛女子高校出身 |

地元の伝統文化を海外に伝えたい思いがあり、本学科の英語コミュニケーションコースを選びました。気軽に外国人の先生と話ができる環境や、留学プログラムなどを活用させてもらっています。3年次からは異文化比較をテーマにしたゼミに参加。先生が開催する子ども向け英語教室のサポートや、日本と海外のニュースの比較研究を通して、異文化について学んでいます。3年次終了後には、休学して1年間のカナダ留学を敢行し、ビジネス英語学校に通いました。現地の企業に訪問した際、雑談から会話を広げる「スモールトーク」に出会って強い興味を持ち、ゼミの卒業論文のテーマを「日本と北米のスモールトークの違い」に設定。自国の文化を伝えるためにも、海外の文化をさらに深く学んでいきたいです。



カナダ留学時に通ったビジネス英語学校での風景。



COM

コミュニケーション学科の先輩たちが、社会で目指していることは？

高間 健世
— 福井商業高校出身 —

情報をわかりやすく伝える力を身につけ、仕事に活かす。

高校では、情報処理科でPCを用いたデータのまとめ方を学びました。大学ではさらに技術を磨くか、デザインの勉強がしたいと思っています。



牧野 早峰
— 大野高校出身 —

海外の人と話す楽しさを身をもって伝えられる英語の先生に。

国ごとに感情表現が異なるのは、文化の違いが大きいです。子どもたちに異文化についてわかりやすく伝え、楽しく英会話をさせてあげたいです。



野崎 紗彩香
— 武生東高校出身 —

大学で身に付けられるスキルを活かして、地域貢献を。

地域の活性化に携わるという将来の夢を見据えながら、情報社会コースと企画・マネジメントコースのどちらを選択するか迷っている最中です。



酒井 優南
— 金津高校出身 —

新しい視点をもって地元を調査し、多くの人に伝えたい。

情報社会コースに進んで地域活性化について学びたいです。当たり前を疑って新たな魅力を見つけ、確かな情報で地元をPRしていきたいです。



幸道 裕記
— 羽水高校出身 —

生まれ育った地域を、より安心して過ごせる場所にしたい。

地域貢献がしたくて警察官を目指していましたが、地域貢献の方法はたくさんあると知りました。もっと積極的に地域のことを学びたいです。

コミュニケーション学科 3つのコースと「身に付く力」

▶ 企画・マネジメントコース

「構想・実行力」課題解決のプランを構想し、実践できる人を育成します。

▶ 英語コミュニケーションコース

「実践的英語力」実践的英語力を身に付け、国際感覚豊かな人を育成します。

▶ 情報社会コース

「情報活用力」情報を活用し、地域の文化を創造できる人を育成します。

コミュニケーション学科で取得可能な

免許&資格

- 中学校教諭一種免許状 (英語)
- 高等学校教諭一種免許状 (英語)
- ITパスポート ● 社会調査士
- 社会福祉主事 (任用資格) ● TOEIC®